

らんこ文芸

短歌（蘭越短歌会から）

我が郷里さとより今年限りと届け来し
伊東としえ

糯米団地の最後の収穫
西條 美登

晩秋に雨しとしとと降りませば
心しずみぬ冬を感じて

田中 昇

あでやかに錦極まる今日の秋
匠の技もこれに敵はじ

中屋 吉恵

いつの間に年重ねしかはや七十
もらつもたれず夫と歩まん

山峡の裸の木々の間より
遠き灯りに温もり思う
日比野フク子

藤原 孝義

おい・あんた呼んで呼ばれて五十年
共に白髪まきの今の幸せ

宮谷内誠子

ブータンの国王夫妻のほほえみに
お国の幸せしみいでおり

脇山 好子

ゆったりと冷えしからだを湯に浸けて
想い浮かべり童の顔を

中兼裕美子

俳句（蘭越俳句会から） 寿鳳選

年毎に気合いが増すや冬の陣

雪の夜の移りて消えし風の音
薪割まきって冬將軍に備えけり
藤原 孝義

木枯らしに枝先細るばかりなり
上野 朝子

招かざる雪が夜中に降りしきる
田中 昇

帽子ごとほおかぶと頬ほお振りしてニシン漬け
小川 澄江

納め月笑顔で字ぶ白髪かな
西岡 孝一

羊蹄の峰に初日の寄り添えり
石坂 寿鳳

選者吟

選者吟

◆ホットひと休み◆

～たつ～



編

集

室

あけましておめでとうござい
ます。辰といって一番に思い浮
かぶのは、まんが日本昔ばなし
のオープニングで、龍の背中に、
でんでん太鼓を持った子どもが
乗っている姿を思い出します。
そのときの曲「坊や良い子だね
んねしな」は昔からある童謡だ
と思っていました。が、作詞は、
森進一の「おふくろさん」を作
詞した、川内康範と知って、びつ
くりしました。(ま)

新年あけましておめでとうご
ざいます。皆さま方には、今年
も充実した年でありますようご
祈念申し上げます。昨年も広報
の取材に、多くの方々にご協力
をいただきました。また、今年も「広
報らんこし」のご愛読をよろし
くお願いいたします。それでは、
早速情報提供のお願いを一つ、
お料理を紹介させていただいて
おりますが、我が家の定番レシ
ピを、お知らせください。ご連
絡をお待ちしております。(た)